

修法が原定点観察会

2021.3.21 兵庫きのこ研究会

4ヶ月ぶりの定点観察会、コロナ禍で

しばらく短縮プログラムでの実施だった観察会が、通常スペックで2021年度の幕開けとなりました。冒頭、新しい会員さんも増え、名前と顔が一致しない〜という声にお応えして、名札を配布。増してマスクをして顔も覚えられないよ〜という歯がゆさを少しでもなくせればと思います。

会員証はITOさんのかわゆいタマゴタケのイラストでしたが、名札は昨年修法が原で初観察の「カエントケ」です。

これから定点出席のときにはぜひこの名札をつけてください。まだ受け取られていない方々も4月以降参加の際にお渡しします。

さて、オリエンテーションのあと一旦解散して、濡れた林内を目を凝らしてキノコを探します。昨日までは乾燥注意報が出ていたこともあり、きっとキノコは少ないだろうと思いつつ、実際、地表の落ち葉をかき分けると乾燥した地面が現れます。ところが目が多いといろいろ見つかるものです。

まず、ツバキキンカクチャワンタケとトガリアミガサタケ（この日は1本だけ）、その後、ハルノウラベニタケ、アクニオイタケ、モクレンキンカクキンなどこの時期らしいキノコが次々、現れます。キクラゲ、アラゲキクラゲ、タマキクラゲの3兄弟、シイタケなどの食菌もあり、実にリズムカルで楽しい観察会となりました。フクロシトネタケもじっくり探してゲットです。

コロナで生活様式も変わっていく中「ニュー・ノーマル」なる語を良く耳にするようになりましたが、この日の定点では割と大きなホコリタケが採れました。これがいわゆる「ホコリタケ」、普通のホコリタケだったのでYUKI君が「ノーマルのホコリタケ」と言い、新しいこの呼び方を受けて「ニュー・ノーマル・ホコリタケ！」と呼んだというのが今日のフィールドでのオチです。

昼食後の同定会では新星のSiorinさんが付箋記入を手伝ってくれて、同定もはかどりました。帰り際にはNakataniさんからのシイタケやMatusitaさんからのフキノトウなど差し入れも分け合い、春を再び感じて散会となりました。

非常に小さな落ち葉から生えるオチバタケ様のキノコはやはりなかなか同定が難しいので今後の研究課題です。



今月の1枚「アクニオイタケ」

久しぶりの同定作業▼



ヘビヌカホコリ▼



今月観察されたきのこ▼

2021年 3月 21日 観察記録		天候:曇時々雨 参加者:20名 同定:28種
和名	属名	科名
1 キヒラタケ	キヒラタケ属	キシメジ科/ヒラタケ科
2 ヒラタケ	ヒラタケ属	ヒラタケ科
3 オチバタケの一種	ホウライタケ属orモリノカレバタケ属など	ホウライタケ科orツキヨタケ科など
4 コゲイロサカスキホウライタケ	サカスキホウライタケ属	ホウライタケ科/キシメジ科
5 シイタケ	シイタケ属	ホウライタケ科/キシメジ科
6 ワサビタケ	ワサビタケ属	クヌギタケ科/キシメジ科
7 アクニオイタケ	クヌギタケ属	クヌギタケ科/キシメジ科
8 ニガクリタケ	ニガクリタケ属	モエキタケ科
9 ハルノウラベニタケ	ヒカゲウラベニタケ属	イッポンシメジ科
10 ミイノモミウラモドキ	イッポンシメジ属	イッポンシメジ科
11 ハチノスタケ	タマショレイタケ属	タマショレイタケ科
12 ヒトクチャタケ	ヒトクチャタケ属	タマショレイタケ科
13 カワラタケ(古い個体)	シロアミタケ属	タマショレイタケ科
14 ハカワラタケ	シハイタケ属	タマショレイタケ科
15 アオソメタケ	オオオシロイタケ属/オシロイタケ属	ツガサルノコシカケ科/サルノコシカケ科
16 シロカイメンタケ	カンバタケ属	ツガサルノコシカケ科/サルノコシカケ科
17 ホウロクタケ?	ホウロクタケ属	ツガサルノコシカケ科/サルノコシカケ科
18 ツチグリ(老菌)	ツチグリ属	ツチグリ科/ディプロスチディウム科
19 ホコリタケ	ホコリタケ属	ハラタケ科/ホコリタケ科
20 アラゲキクラゲ	キクラゲ属	キクラゲ科
21 キクラゲ	キクラゲ属	キクラゲ科
22 タマキクラゲ	ヒメキクラゲ属	キクラゲ科/ヒメキクラゲ科
23 ヒメキクラゲ	ヒメキクラゲ属	キクラゲ科/ヒメキクラゲ科
24 ツバキキンカクチャワンタケ	ニセキンカクキン属	キンカクキン科
25 モクレンキンカクキン	ニセキンカクキン属	キンカクキン科
26 フクロシトネタケ?	シトネタケ属	シトネタケ科/ノボリリュウタケ科
27 トガリアミガサタケ	アミガサタケ属	アミガサタケ科
28 クロコブタケ属の一種	クロコブタケ属/ヒボキシロン属	クロサイワイタケ科

